安全データシート



キット 化学品の名称 キット カタログ番号 Immun-Blot Goat Anti-Human AP Kit

1706462

改訂日 2023-11-29

構成品

カタログ番号	化学品の名称
9701068	AP Color Reagent B
1706435, 9702901, 1706435EDU	10x TBS
1706606, 1705017, 1706531, 1705017EDU, 1706531EDU,	Tween 20
1706531XTU, 9702906, 9701059, 25116	
1706537, 9701117	Gelatin
1706521, 1706521EDU, 1721004, 9730521, 9701106	Goat Anti-Human IgG (H+L) AP Conjugate
9702818	25X AP Color Development Buffer
9701067	AP Color Reagent A

ページ 1/50 KITJ / JP



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2023-09-13 改訂番号 1.2

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 AP Color Reagent B

カタログ番号 9701068

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547 **USA**

緊急連絡電話番号

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life_ps_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 使用上の制限 試験研究用試薬 情報なし

2. 危険有害性の要約

CLIC Ass	
GHS 分類	IE () o
引火性液体	区分 3
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	区分 3
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	区分 4
皮膚腐食性/刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2B
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分 2
発がん性	区分 1B
生殖毒性	区分 1B
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	区分 1
区分 1 肝臓。	
区分 2 呼吸器。	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1
	·
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素



AP Color Reagent B 改訂日 2023-09-13

注意喚起語

危険

危険有害性情報

吸入すると有害 吸入すると有毒

皮膚刺激

眼刺激

遺伝性疾患のおそれの疑い

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害

長期にわたる、 又は反復ばく 露による臓器の障害

引火性液体及び蒸気

以下の臓器の障害: 肝臓。

呼吸器 以下の臓器の障害のおそれ:

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害: 肝臓。

注意書き

- 安全対策
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと

- ・全ての安全注意を読み埋解するまで取り扱わないこと ・保護手袋/保護衣及び眼/顔面保護具を着用すること ・屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること ・取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと ・容器を接地しアースをとること ・火花を発生させない工具を使用すること ・熱雲気物雲に対する場響を講ずること

- ・静電気放電に対する措置を講ずること
- ・熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙 ・容器を密閉しておくこと ・涼しいところに置くこと

応急措置

- ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること ・医師に連絡すること ・皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も 洗浄を続けること

- ・眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること・ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること・ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること・皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水【 又はシャワー】で洗うこと・火災の場合: 消火するために乾燥した砂、粉末消火剤又は耐アルコール泡消火剤を使用すること・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること

保管

- ・施錠して保管すること
- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと

廃棄

・内容物/容器を適用される現地、地域、国、及び国際規則に従って廃棄すること

他の危険有害性

該当しない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

	JIMA WINDEM WIN						
	化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベ	化審法番号	安衛法インベ	安衛法番号
				ントリ		ントリ	
Т	N,N-ジメチルホルムアミド	68-12-2	50 - 100	既存	(2)-680	既存	(2)-680

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

変換係数のデータが無い場合は係数は1 として算出

化学名又は一般名	政令名称	金属、CN、F、 その他	変換係数	含有率 %	区分	政令番号	管理番号
N,N-ジメチルホルムア ミド	N , N ージメチ ルホルムアミド			70	第1種指定化学物 質	1-264	232

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u>

法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9及び第3号・別表第3

危険性又は有害性等を調査すべき危険有害物

法第57条の3

化学名又は一般名	規則名称	CAS番号	含有率 %	施行日
N,N-ジメチルホルムアミド	N, N ージメチルホルムア	68-12-2	70	
	ミド			

表示対象物質

法第57条第1項,施行令第18条第1号。第2号•别表第9及75第3号•别表第3

	(<u>/) </u>	<u> </u>		
化学名又は一般名	規則名称	CAS番号	含有率 %	施行日
N,N-ジメチルホルムアミド	N,N -ジメチルホルムア	68-12-2	70	
	Ĭ			

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

治療を行う医師にこのSDSを示すこと。 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察 \diagup 手当てを受けること。 直ちに医師の手当てを受ける必要がある。 -般的なアドバイス

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移すこと。 ばく 露又はばく 露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。 症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること。 呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。 直ちに医師の手当てを受けること。 直ちに医師の手当てを受ける必要がある。 負傷者が本製品を飲み込んだり吸入した場合には口移し法は

皮膚に付着した場合 汚染された衣服及び靴を脱ぎ、直ちに石けん(鹸)と多量の水で洗うこと。 症状が続く 場合

には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。 洗っている間は眼を大きく広げたままにすること。 受傷部をこすらないこと。 症状が続く場合には、医師に連絡すること。 刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合 無理に吐かせないこと。 口をすすぐこと。 意識のない者には、何も口から与えてはならない。 直ちに医師又は中毒情報センターに連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 咳及び/又は喘鳴。 呼吸困難。

徴候症状

応急措置をする者の保護に必要な注意 すべての着火源を排除すること。 医療者に物質の関与を伝え、自身の保護及び汚染の拡大 事項 を防止するための措置を講じること。 指定された個人用保護具を着用すること。 詳細に ついては項目8を参照。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 負傷者が本製品を飲み 込んだり吸入した場合には口移し法は使わないこと。 一方向弁付きポケット・マスク又は 他の適切な呼吸医療装置を使用して人工呼吸を行うこと。 蒸気やミストを吸入しないこ

ہ ط

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 粉末消火剤。 二酸化炭素(CO2)。 水噴霧。 耐アルコール泡消火剤。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

着火のリスク。 製品及び空容器を熱源及び着火源から遠ざけること。 火災の場合には、水噴霧でタンクを冷却すること。 燃焼残留物や汚染された消火水は現地の規制に従って廃 特有の危険有害性

棄しなければならない。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人

予防措置 用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 人員を安全な区域に退避させること。 指定された個人用保護具を着用すること。 詳細に ついては項目8を参照。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 十分換気されているか 確認すること。 人員を漏出/漏えい(洩)の風上に遠ざけること。 全ての着火源を排除すること(近接区域は禁煙とし、裸火、火花又は火炎を排除すること)。 フラッシュバックに注意すること。 静電気に対する予防措置を講ずること。 製品を取り扱うときは使用する全 ての器材を接地すること。 漏出物に触れたりその上を歩いたりしないこと。 蒸気やミストを吸入しないこと。 蒸気又はミストを吸い込まないようにすること。

緊急対応を行う 者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。 製品が排水路に入らないようにすること。 環境に対する注意事項

封じ込め方法

リスクを伴わずに可能ならば漏えい(洩)を止めること。漏出物に触れたりその上を歩いたりしないこと。蒸気抑制泡を使用して蒸気を減らすことができる。流去水を回収するために液体流出物のかなり前方に堤防を築くこと。排水路、下水溝、排水溝、水路に入らないようにすること。後で廃棄するために土、砂又はその他の不燃性材料に吸収させて容器

に移すこと。

浄化方法 静電気に対する予防措置を講ずること。 せき止めること。 不活性吸収材料で吸収するこ

と。回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

その他の情報 その区域を換気すること。 項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

個人用保護具を使用すること。 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 静電気の放電、火災又は爆発を防止するために、この物質を移動するときは接地及びアース接続を使用すること。 火花を発生させない工具及び防爆型の機器を使用すること。 スプリンクラーが装備された区域に保管すること。 包装容器のラベルに記載の指示に従って使用すること。 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類及び靴を脱ぐこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 蒸気やミストを吸入しないこと。 換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。 製品の取扱いを閉鎖系内に限定するか適切な排気式換気を設けること。

衛生対策

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 機器、作業区域及び衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。 休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと。 適切な手袋及び眼/顔面保護具を着用する。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 蒸気やミストを吸入しないこと。 汚染された衣類及び手袋は脱ぎ、再使用する前に内側を含めて洗濯すること。

保管

安全な保管条件

容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。 熱、火花、炎及び他の着火源(例えば、点火バーナー、電気モーター及び静電気)から遠ざけること。 適切な表示のある容器に保管すること。 可燃性物質の近くには保管しないこと。 スプリンクラーが装備された区域に保管すること。 個別の国内規制に従って保管すること。 現地の規則に従って保管すること。 施錠して保管すること。 子供の手の届かない場所に保管すること。

8. ばく 露防止及び保護措置

許容濃度

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基 準 - 管理濃度	ACGIH TLV
N,N-ジメチルホルムアミド 68-12-2	TWA: 10 ppm TWA: 30 mg/m³ S*	10 ppm	TWA: 5 ppm S*

生物学的職業性ばく 露限界値

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	ACGIH
N,N-ジメチルホルムアミド	_	30 mg/L - urine (Total
68-12-2		N-methylformamide) - end of shift
		30 mg/L - urine
		(N-Acetyl-S-(N-methylcarbamoyl)cystein
		e) - end of shift at end of workweek

シャワー 設備対策

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。 不浸透性手袋。

眼及び/又は顔面の保護具 密封性の高い安全ゴーグル。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。 長袖の衣類。 耐薬品性エプロン。 帯電防止長靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

透明な液体 物理状態 液体 色 無色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

備考 · 方法 製点 融点/凝固点 沸点又は初留点及び沸点範囲 可燃性 <u>デー</u>タなし 情報なし 100 ° C / 212 ° F 情報なし

データなし 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし データなし 爆発又は可燃の下限界 情報なし

58 ° C / 136.4 ° F 引火点

データなし 蒸発速度 自然発火点 情報なし 情報なし データなし 分解温度 情報なし データなし 情報なし 粘度

動粘性率 データなし 情報なし データなし 動的粘度 情報なし 水への溶解度 水と混和

溶解度 情報なし データなし データなしデータなし n ーオクタノ ール/水分配係数(log値) 蒸気圧 情報なし 情報なし

密度及び/又は相対密度

相対密度 データなし 情報なし 相対ガス密度 データなし 情報なし 粒子特性

粒径 データなし 該当しない 粒径分布 データなし 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

10:安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

危険有害反応可能性 通常の条件下で安定。

避けるべき条件 熱、炎及び火花。 過剰な熱。

混触危険物質 強酸。 強塩基。 強酸化剤。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 あり。 なし。 機械的衝撃に対する感度

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS**文書の第**3.1章に基づいて算出されている **ATEmix(吸入 - 粉じん/ミスト**) 2.14 mg/l

ATEmix(吸入 - 蒸気) 4.29 mg/l

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
N,N-ジメチルホルムアミド	= 2800 mg/kg (Rat)	= 1100 mg/kg (Rat)	> 5.85 mg/L (Rat) 4 h

略語及び頭文字 Rat: ラット

症状 発赤、 眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある、 咳及び/又は喘鳴、 呼吸困難。

製品情報

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、 経口

及び下痢を引き起こすおそれがある。

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 気道刺激を引き起こすおそれ。 吸入すると有毒である (成分に基づく)。 吸入すると有害。 吸入

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 皮膚刺激(成分に基づく)。

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 眼刺激。 発赤、掻痒感、及び痛みを引き起こすおそれがある。 眼接触

皮膚腐食性/刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 皮膚刺激。 皮膚刺激のおそれ。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 眼刺激。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 変異原性が知られている又は変異原性が疑われる物質を含んでいる。 成分に対して利用可

能なデータに基づく分類。 遺伝性疾患のおそれの疑い。

発がん性 発がん性が知られている又は発がん性が疑われる物質を含んでいる。 成分に対して利用可

能なデータに基づく分類。発がんのおそれ。

下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。

化学名又は一般名	日本	IARC
N,N-ジメチルホルムアミド	1B	Group 2A
68-12-2		· ·

凡例

国際がん研究機関

グループ2A - ヒトに対する発がん性がおそらくある

成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。 生殖毒性

標的臓器影響 肝臓、腎臓、呼吸器、眼、皮膚、中枢血管系(CVS)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

国又は地域で採用され、SDSが準拠している世界調和システム(GHS)の分類基準に基づき、この製品は急性のばく露に起因して全身標的臓器毒性を引き起こすと判定されている。 臓

器の障害。

以下の臓器の障害: 肝臓

以下の臓器の障害のおそれ: 呼吸器。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。

長期にわたる、又は反復ばく露による 肝臓。 以下の臓器の障害:

誤えん有害性 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殼類
N,N-ジメチルホルムアミド	EC50: >500mg/L (96h,	LC50: =6300mg/L (96h, Lepomis	EC50: =7500mg/L (48h, Daphnia
	Desmodesmus subspicatus)	macrochirus)	magna)
	•	LC50: =9800mg/L (96h,	EC50: =8485mg/L (48h, Daphnia
		Oncorhynchus mykiss)	magna)
		LC50: =10410mg/L (96h,	EC50: 6800 - 13900mg/L (48h,
		Pimephales promelas)	Daphnia magna)

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 この製品のデータはない。

成分情報

<u>以为1月和</u>			
化学名又は一般名	分配係数		
N,N-ジメチルホルムアミド	-1.028		
68_12_2 I			

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響

13. **廃棄上の注意**

残余廃棄物 環境中に放出してはならない。 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃

棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空の容器は火災及び爆発危険有害性を有する。容器を切断、穴開け又は溶接しないこと。

輸送上の注意

IMDG

国連番号又はID番号 UN1993

品名(国連輸送名) FLAMMABLE LIQUID, N.O.S.

説明 UN1993, その他の引火性液体(他の危険性を有しないもの) (N,N-ジメチルホルムアミド), 3,

III, (58° C C.C.)

国連分類(輸送における危険有害性 3 クラス) 容器等級 Ш 海洋污染物質 NP EmS番号 F-E, S-E

特別条項 223, 274, 955

ADR

国連番号又はID番号 1993

品名(国連輸送名) FLAMMABLE LIQUID, N.O.S.

説明 1993, その他の引火性液体(他の危険性を有しないもの) (N,N-ジメチルホルムアミド), 3, III

国連分類(輸送における危険有害性 3 クラス)

容器等級 ERG ⊐ ─ **ド** 31 特別条項 274, 601

IATA

国連番号又はID番号 UN1993

品名(国連輸送名) 引火性液体、(他に品名が明示されているものを除く)

説明 UN1993. Medicines, flammable, liquid, n.o.s. (N.N-ジメチルホルムアミド), 3, III

国連分類(輸送における危険有害性 3 クラス)容器等級

特別条項 A3

日本

国連番号又はID番号 UN1993

品名(国連輸送名) FLAMMABLE LIQUID, N.O.S.

説明 UN1993, その他の引火性液体(他の危険性を有しないもの) (N,N-ジメチルホルムアミド), 3,

国連分類(輸送における危険有害性 3 クラス)容器等級 Ш

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当する 詳細情報については項目3を参照 **労働安全衛生法**

健康診断を要する有害物質 健康診断 - 労働安全衛生法第66条、労働安全衛生法施行令第22条、及び特定化学物質等障害予防規則、別表第5 有機溶剤等(有機則)

第2種有機溶剤等-労働安全衛生法施行令別表第6の2(第6条、第21条、第22条関係、及び有機溶剤中毒予防規則) 危険物

労働安全衛生法施行令別表第1(第6条、第9条の3関係)

引火性の物

通知対象物質

法第57条の2 施行令第18条の2第1号、第2号別表第9及び第3号・別表第3

危険性又は有害性等を調査すべき危険有害物

法第57条の3

表示対象物質

法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9及び第3号・別表第3

労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度 作業環境測定を行うべき作業場(労働安全衛生法施行令第21条及び作業環境評価基準 - 実行上の管理レベル)。 詳細な仕様につ いては、SDSの項目8を参照。

がん原性に係る指針対象物質

安衛法第28条第3項に規定で厚生労働大臣が指定する化学物質

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

引火性液体、第4類、第2石油類、非水溶性液体、危険等級 Ⅲ、1000リットル

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法) 下表に 記載されている 該当すると考えられるカットオフ値を超える成分を示す

「衣は、記載されている、故ヨッるころんりれるカー	ノドカノ 胆と 胆んる 汎力を	小 9
化学名又は一般名	CAS番号	化審法
N.N-ジメチルホルムアミド	68-12-2	優先評価化学物質

船舶安全法

詳細については項目14を参照

航空法

詳細については項目14を参照

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

. 該当しない

港則法

詳細については項目14を参照

労働基準法 化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び別表第1の2、項目4の1 大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質

大気汚染防止法第2条、第4項で定める揮発性有機化合物

大気汚染防止法第2条、第1項、第3号及び大気汚染防止法施行令第1条で定める有害物質(HAP)

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2023-09-13

改訂記録 既存情報のフォーマット変更・更新済。

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例 <u>凡例 項目8: ぱく露防止及び保護措置</u> TWA TWA(時間加重平均) 天 最大限界值 天井値 経皮吸収 感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源環境有害物質・特定疾病対策庁(ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

不当株児体設力 同土性里化子物貝フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID)

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) - スコージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

<u>免責事項</u>

した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2023-11-28 改訂番号 1.2

化学品及び会社情報

化学品の名称 10x TBS

カタログ番号 1706435, 9702901, 1706435EDU

安全データシート の供給者の詳細

製造者 本社

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547

USA

緊急連絡電話番号

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive

Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life_ps_jp@bio-rad.com

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬 使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	
世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもな	zl'
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

注意書き

安全対策・該当しない

応急措置

・該当しない

該当しない

廃棄

10x TBS 改訂日 2023-11-28

該当しない

他の危険有害性

該当しない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法 <u>通知対象物質</u>

該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし。 **徴候症状**

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。 適切な消火剤

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

水噴霧でドラムを冷却すること 特有の消火方法

警告: 放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 **予防措置** 用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 急時措置

10x TBS 改訂日 2023-11-28

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。 封じ込め方法

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

<u>取扱い</u>

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく 露限界値 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

シャワー 設備対策

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

眼及び/又は顔面の保護具 特別な保護具は必要とされない。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

水溶液 物理状態 液体 色 無色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

備考 · 方法 情報なし 唱 データなし データなし 融点/凝固点 沸点又は初留点及び沸点範囲 情報なし -タなし 可燃性 情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

データなし 爆発又は可燃の上限界 情報なし 爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 引火点 該当しない 情報なし 蒸発速度 データなし 情報なし

10x TBS **改訂日** 2023-11-28

 自然発火点
 データなし
 情報なし

 分解温度
 データなし
 情報なし

pH 7 **粘度**

動粘性率 データなし 情報なし **動的粘度** データなし 情報なし

水への溶解度水と混和溶解度データなし情報なしn ーオクタノール/水分配係数(log値)データなし情報なし蒸気圧データなし情報なし

密度及び/又は相対密度

相対密度 データなし 情報なし

蒸気濃度 1.18 **相対ガス密度** データなし 情報なし **粒子特性**

 対径
 データなし

 該当しない
 粒径分布
 データなし

 該当しない
 対位

その他の情報

爆発性 情報なし **酸化性** 情報なし

10:安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性通常の条件下で安定。危険有害反応可能性通常の条件下で安定。

避けるべき条件情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 **機械的衝撃に対する感度** なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

情報なし

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている ATEmix(経口) 9,861.80 mg/kg

症状情報なし。

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

10x TBS 改訂日 2023-11-28

生殖細胞変異原性 分類できない。

発がん性 分類できない。

生殖毒性 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない。

誤えん有害性 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 オゾン層への有害性

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

規制対象外 <u>IMDG</u> ADR 規制対象外 <u>IATA</u> 規制対象外 <u>日本</u> 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

労働安全衛生法

通知対象物質 該当しない

10x TBS 改訂日 2023-11-28

表示対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2023-11-28

既存情報のフォーマット変更・更新済。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例 凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA(時間加重平均) TWA 天井値 最大限界值 経皮吸収 感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

国際統一化学情報データベース(IUCLID)

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

NIOSH(未国労働女宝衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

世界保健機構

<u>免責事項</u>

であるという。 このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2023-11-01 改訂番号 1.2

化学品及び会社情報

化学品の名称 Tween 20

カタログ番号 1706606, 1705017, 1706531, 1705017EDU, 1706531EDU, 1706531XTU, 9702906, 9701059, 25116

安全データシート の供給者の詳細

製造者 本社

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive

Hercules, CA 94547 **USA**

緊急連絡電話番号

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life_ps_jp@bio-rad.com

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬 使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

$^{\circ}$	分類
<u>5H5</u>	ノノ大規

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でも 急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	分類できない
念性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - ガス 急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
念性毒性(吸入) - 然以 急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
 	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

注意書き 安全対策

・該当しない

応急措置

・該当しない

該当しない

廃棄

改訂日 2023-11-01 Tween 20

該当しない

他の危険有害性

該当しない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学物質

<u>10 1 10 24 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 </u>	73.7-					
化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベーントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
ポリソルベート 20	9005-64-5	50 - 100	既存	(8)-55	既存	(8)-55

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u> 該当しない

表示対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

眼に入った場合 上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談する

こと。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし。

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置

用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 **急時措置**

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく 限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない。 生物学的職業性ばく露限界値

シャワー 設備対策

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

眼及び/又は顔面の保護具 特別な保護具は必要とされない。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

液体 外観 物理状態 液体 淡黄色 色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

備考・方法 情報なし 特性 融点/凝固点 タなし 沸点又は初留点及び沸点範囲 -タなし 情報なし タなし 情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし データなし 爆発又は可燃の下限界 情報なし Tween 20 **改訂日** 2023-11-01

新発速度 データなし 情報なし **自然発火点** データなし 情報なし **分解温度** データなし 情報なし pH データなし 情報なし **粘度**

動粘性率 データなし 情報なし **動的粘度** データなし 情報なし

動的粘度 データなし 情報な 水への溶解度 水と混和

 溶解度
 データなし
 情報なし

 n ーオクタノール/水分配係数(log値) データなし
 情報なし

 素気圧
 データなし
 情報なし

 密度及び/又は相対密度
 1.105
 情報なし

相対ガス密度データなし情報なし粒子特性対径データなし該当しない粒径分布データなし該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸**化性** 情報なし

10:安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性通常の条件下で安定。危険有害反応可能性通常の条件下で安定。

避けるべき条件情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 **危険有害な分解生成物** 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

情報なし

	化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
I	ポリソルベート 20	= 37000 mg/kg (Rat)	-	> 5.1 mg/L (Rat) 4 h
L				

略語及び頭文字 Rat: ラット

症状情報なし。

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。
 吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。
 皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。
 眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 分類できない。

Tween 20 改訂日 2023-11-01

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 分類できない。

発がん性 分類できない。

生殖毒性 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく 露) 分類できない。

誤えん有害性 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

規制対象外 <u>IMDG</u> <u>ADR</u> 規制対象外 <u>IATA</u> 規制対象外 <u>日本</u> 規制対象外

15. **適用法令**

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない 労働安全衛生法

Tween 20 改訂日 2023-11-01

該当しない 通知対象物質 該当しない 表示対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

引火性液体、第4類、第3石油類、非水溶性液体、危険等級 Ⅲ、2000リットル

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

下表は、記載されている、該当すると考えられるカットオフ値を超える成分を示す

		-9-7
化学名又は一般名	CAS番号	化審法
ポリソルベート 20	9005-64-5	優先評価化学物質

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. そ**の他の情報**

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2023-11-01

改訂記録 既存情報のフォーマット変更・更新済。

-タシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

天井値 最大限界值 経皮吸収 感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源環境有害物質・特定疾病対策庁(ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデーダベース

欧州化学品局

欧州食品安全機関(EFSA)

以門良品女主機関(LFSA) EPA (米国環境保護庁) 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

国際統一化学情報データベース(IUCLID)

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP) 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国国家毒性プログラム(NTP)

不当国家毎ピブロップ公(NTF) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

免責事項

元のSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、 情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃 棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様では ありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用 した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2023-11-01 改訂番号 1.2

化学品及び会社情報

化学品の名称 Gelatin

カタログ番号 1706537, 9701117

CAS番号 9000-70-8

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad Laboratories, Life 140-0002

東京都品川区東品川2-2-24 1000 Alfred Nobel Drive Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547 天王洲セントラルタワー20F Hercules, California 94547 **USA** バイオ・ラッド ラボラトリーズ

USA 株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life_ps_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 使用上の制限 試験研究用試薬 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない	
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報 世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

注意書き 安全対策 ・該当しない 応急措置 該当しない 保管

改訂日 2023-11-01 Gelatin

・該当しない 廃棄

・該当しない

他の危険有害性

該当しない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 CAS番号 化学物質 9000-70-8

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
ゼラチ	9000-70-8	50 - 100	既存	(8)-313	既存	(8)-313

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な情報なし。

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること。

警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置

用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。

急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく 露限界値 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場

換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

眼及び/又は顔面の保護具 特別な保護具は必要とされない。 特別な保護具は必要とされない。 皮膚及び身体の保護具

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観 粉末 物理状態 固体 色 黄色 硫黄臭 臭いのしきい値 情報なし

融点/凝固点 タなし -タなし -タなし 沸点又は初留点及び沸点範囲

可燃性 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 **備考 · 方法** 情報なし 情報なし

改訂日 2023-11-01 Gelatin

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし データなし 爆発又は可燃の下限界 情報なし 引火点 該当しない 情報なし データなし 蒸発速度 情報なし 情報なし 自然発火点 **一**タなし 分解温度 データなし データなし 情報なし 粘度

データなし 動粘性率 情報なし データなし 動的粘度 情報なし 水に可溶 水への溶解度

: データなし 溶解度 情報なし n ーオクタノール/水分配係数(log値) データなし 情報なし 蒸気圧 データなし 情報なし

密度及び/又は相対密度

相対密度 情報なし 相対ガス密度 粒子特性 データなし 情報なし

粒径 該当しない データなし データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。 危険有害反応可能性 通常の条件下で安定。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

情報なし

症状 情報なし。

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。 Gelatin 改訂日 2023-11-01

生殖細胞変異原性 分類できない。

発がん性 分類できない。

生殖毒性 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない。

誤えん有害性 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 オゾン層への有害性

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 残余廃棄物

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

<u>IMDG</u> 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 規制対象外 <u>IATA</u> 日本 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない 労働安全衛生法

通知対象物質 該当しない 表示対象物質

改訂日 2023-11-01 Gelatin

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety 作成者

改訂日 2023-11-01

改訂記録 既存情報のフォーマット変更・更新済。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例 凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA(時間加重平均) TWA 天井値 最大限界值 経皮吸収 感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA) EPA(米国環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID)

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット ##與保健機構

世界保健機構

免責事項

であるDSIは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用したまたなどなど、またようななどは、 した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2023-11-01 改訂番号 1.2

化学品及び会社情報

化学品の名称 Goat Anti-Human IgG (H+L) AP Conjugate

カタログ番号 1706521, 1706521EDU, 1721004, 9730521, 9701106

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547

USA

緊急連絡電話番号

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life_ps_jp@bio-rad.com

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬 使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS	分類
0110	/J 7R

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でも 急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	区分に該当しない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

注意書き

安全対策 ・該当しない

応急措置

・該当しない

該当しない

廃棄

該当しない

他の危険有害性

軽度の皮膚刺激。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
アジ化ナトリウム	26628-22-8	0.1 - 0.299	既存	(1)-482	既存	(1)-482

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u> 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

眼に入った場合 上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談する

こと。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 長期にわたり接触すると発赤及び刺激を引き起こすおそれがある。

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置

用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 **急時措置**

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

<u>保管</u>

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基 準 - 管理濃度	ACGIH TLV
アジ化ナトリウム	-	-	Ceiling: 0.29 mg/m ³ Sodium azide
26628-22-8			Ceiling: 0.11 ppm Hydrazoic acid vapor

生物学的職業性ばく露限界値 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場

換気システム

環境ばく露防止情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。

眼及び/又は顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観水溶液物理状態液体色無色臭い無臭

臭いのしきい値 情報なし

備考 · 方法 0 ° C / 32 ° F

融点/凝固点 沸点又は初留点及び沸点範囲 デーダなし 情報なし

可燃性 一タ なし 情報なし 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし 爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 該当しない 引火点 情報なし 蒸発速度 自然発火点 分解温度 一夕 なし 情報なし 一夕なし データなしデータなし 情報なし 情報なし データなし 情報なし 粘度

動粘性率 データなし 情報なし 動的粘度 データなし 情報なし

水への溶解度 水と 混和 溶解度 データなし 情報なし 情報なし情報なし

データなし n ーオクタノール/水分配係数(log値) 蒸気圧 データなし

密度及び/又は相対密度 相対密度 1.005 情報なし 相対ガス密度 データなし 情報なし 粒子特性

粒径 データなし 該当しない 粒径分布 データなし 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

金属との接触を避けてください。 この製品にはアジ化ナトリウムが含まれています。 アジ化ナトリウムは、配管システムに含まれる銅、真ちゅう、鉛、およびはんだと 反応して、爆発性化合物および毒性ガスを生成するおそれがあります。 危険有害反応可能性

避けるべき条件 情報なし。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

金属。

爆発データ

混触危険物質

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

<u>急性毒性</u>

毒性の数値尺度 - 製品情報

情報なし

症状

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている ATEmix(経口) 27,000.00 mg/kg

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50	
アジ化ナトリウム	= 27 mg/kg (Rat)	= 20 mg/kg (Rabbit)	0.054 - 0.52 mg/L (Rat) 4 h	

略語及び頭文字 Rat: ラット

Rabbit: ウサギ

長期にわたり接触すると発赤及び刺激を引き起こすおそれがある。

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

吸入この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 軽度の皮膚刺激。

眼接触この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 軽度の皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 分類できない。

発がん性 分類できない。

生殖毒性 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない。

誤えん有害性 区分に該当しない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殻類
アジ化ナトリウム	-	LC50: =0.8mg/L (96h,	-
		Oncorhynchus mykiss)	
		LC50: =0.7mg/L (96h, Lepomis	
		macrochirus)	
		LC50: =5.46mg/L (96h, Pimephales	
		promelas)	

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生態蓄積性情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 アジ化ナトリウムを含む溶液を金属性配管に廃棄する場合は、配管を頻繁に水で洗い流してくださ

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

<u>IMDG</u> 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 規制対象外 <u>IATA</u> <u>日本</u> 規制対象外

15. **適用法令**

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない **労働安全衛生法**

該当しない 通知対象物質

該当しない 表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

自己反応性物質、第5類、第1種、危険等級I、10kg

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び別表第1の2、項目4の1 水道法

水道法第4条、法定水質基準

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2023-11-01

改訂記録 既存情報のフォーマット変更・更新済。

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例凡例項目8: ばく露防止及び保護措置TWATWA(中間間加重平均) 天井値 最大限界值 経皮吸収 感作性物質

本SDS**の編集に使用した主要参考文献及びデータ源** 環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁)

EFA(不国現場体設庁) 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類

オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所) NIOSH(米国労働安全衛生研究所) 米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP) 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット 世界保健機構 世界保健機構

<u>免責事項</u>

元見 〒場 このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2023-09-13 改訂番号 1.2

化学品及び会社情報

化学品の名称 25X AP Color Development Buffer

カタログ番号 9702818

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc.

1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547 **USA**

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life_ps_jp@bio-rad.com

緊急連絡電話番号 CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬 使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類						
##田田和からって ニ	/ (CHC)/- !	- Z 石	10分析 七字/	サの胎母がも	日 今 歩 ス +	+>11

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない	
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

安全対策 ・該当しない

応急措置

・該当しない

該当しない

廃棄

該当しない

他の危険有害性

該当しない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法 <u>通知対象物質</u>

該当しない

<u>表示対象物質</u> 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし。

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。 適切な消火剤

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

水噴霧でドラムを冷却すること 特有の消火方法

警告: 放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 **予防措置** 用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく露限界値 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場 換気システム

環境ばく露防止情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

眼及び/又は顔面の保護具 特別な保護具は必要とされない。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観水溶液物理状態液体色無色臭い無臭臭いのしきい値情報なし

 特性
 値_
 備者・方法

 融点/凝固点
 データなし
 情報なし

 沸点又は初留点及び沸点範囲
 データなし
 情報なし

 可燃性
 データなし
 情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

 爆発又は可燃の上限界
 データなし
 情報なし

 爆発又は可燃の下限界
 データなし
 情報なし

 引火点
 該当しない
 情報なし

 蒸発速度
 データなし
 情報なし

ータなし 情報なし 一タなし 分解温度 情報なし рН

粘度 動粘性率 情報なし データなし 動的粘度 データなし 情報なし

水への溶解度 水と混和 溶解度 データ なし 情報なし n ーオクタノ ール/水分配係数(log値) 蒸気圧 データなし 情報なし データなし

密度及び/又は相対密度

相対密度 0.945 情報なし 相対ガス密度 データなし 情報なし 粒子特性

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

10:安定性及び反応性

情報なし

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。 危険有害反応可能性 通常の条件下で安定。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている ATEmix(経口) 19,471.90 mg/kg ATEmix(経皮) 16,501.70 mg/kg

症状 情報なし。

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 経口

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 分類できない。

発がん性 分類できない。

生殖毒性 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない。

誤えん有害性 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 オゾン層への有害性

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 現地の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

<u>IMDG</u> 規制対象外 ADR 規制対象外 <u>IATA</u> 規制対象外 日本 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

表示対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2023-09-13

既存情報のフォーマット変更・更新済。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例 凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA(時間加重平均) 天井値 最大限界值 経皮吸収 感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源環境有害物質・特定疾病対策庁(ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデーダベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁) 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法

フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

国際統一化学情報データベース(IUCLID)

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

NIOSH(未国労働女宝衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

世界保健機構

<u>免責事項</u>

であるという。 このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2023-09-13 改訂番号 1.2

1. 化学品及び会社情報

日本法人/連絡先住所

東京都品川区東品川2-2-24

140-0002

化学品の名称 AP Color Reagent A

カタログ番号 9701067

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547

USA

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive

天王洲セントラルタワー20F

Hercules, California 94547 USA

バイオ・ラッド ラボラトリーズ 株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life_ps_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 使用上の制限 試験研究用試薬 情報なし

2. 危険有害性の要約

区分 3
分類できない
分類できない
区分に該当しない
区分 3
区分 4
区分 2
区分 2B
分類できない
分類できない
区分 2
区分 1B
区分 1B
授乳に対する又は授乳を介した影響は
ない
区分 1
区分 1
•
分類できない
分類できない
区分に該当しない
分類できない

ラベル要素



ページ 42 / 50 JGHS / JP

AP Color Reagent A 改訂日 2023-09-13

注意喚起語

危険有害性情報

吸入すると有害 吸入すると有毒

皮膚刺激

眼刺激

遺伝性疾患のおそれの疑い

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害

長期にわたる、 又は反復ばく 露による臓器の障害

引火性液体及び蒸気

以下の臓器の障害:

以下の臓器の障害のおそれ: 呼吸器。

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害: 肝臓。

注意書き 安全対策

- 安主河東
 ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
 ・保護手袋/保護衣及び眼/顔面保護具を着用すること
 ・屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること
 ・取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
 ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと
 ・の製品を使用するときとし、飲食又は喫煙をしないこと
 ・容器を接地しアースをときとしているととを接地してアースをときときとり、終れるときに、対電気放電に対する措置を講すること
 ・熱、高温のもの、火花、縄火及び他の着火源から流がけること

- ・熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙・容器を密閉しておくこと ・涼しいところに置くこと

応急措置

- ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること ・医師に連絡すること ・皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること ・眼に入ったまたまで、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も 洗浄を続けること

- ・眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること・ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること・皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水【 又はシャワー】で洗うこと・火災の場合: 消火するために乾燥した砂、サスフトル・火災の場合: 消火するために乾燥などは、ボスフトル・大きな、東佐田さると
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること

保管

- ・施錠して保管すること
- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと

・内容物/容器を適用される現地、地域、国、及び国際規則に従って廃棄すること

他の危険有害性

該当しない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 海心物

<u>化于物具 成日物处色剂 </u>						
化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベーントリー	化審法番号	安衛法インベーントリー	安衛法番号
N.N-ジメチルホルムアミド	68-12-2	50 - 100	既存	(2)-680	既存	(2)-680

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

変換係数のデータが無い場合は係数は1として算出

1	化学名又は一般名	政令名称	金属、CN、F、 その他	変換係数	含有率 %	区分	政令番号	管理番号
N,N	l-ジメチルホルムア ミド	N,N ージメチ ルホルムアミド			97	第1種指定化学物 質	1-264	232

労働安全衛生法

通知対象物質

AP Color Reagent A 改訂日 2023-09-13

施行令第18条の2第1号、第2号別表第9及び第3号・別表第3 法第57条の2、 危険性又は有害性等を調査すべき危険有害物

<u> </u>				
化学名又は一般名	規則名称	CAS番号	含有率 %	施行日
N,N-ジメチルホルムアミド	N, N ージメチルホルムア	68-12-2	97	

表示対象物質

法第57条第1項。施行会第18条第1号。第2号 別表第9及75第3号 別表第3

<u> </u>		XO NIO I MININIO		
化学名又は一般名	規則名称	CAS番号	含有率 %	施行日
N,N-ジメチルホルムアミド	N, N ージメチルホルムア	68-12-2	97	
	l ミド			

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

治療を行う医師にこのSDSを示すこと。 ばく 露又はばく 露の懸念がある場合:医師の診察 /手当てを受けること。 直ちに医師の手当てを受ける必要がある。 一般的なアド バイス

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移すこと。 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。 症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること。 呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。 直ちに医師の手当てを受けること。 直ちに医師の手当てを受ける必要がある。 負傷者が本製品を飲み込んだり吸入した場合には口移し法は使わないこと。 一方向弁付きポケット・マスク又は他の適切な呼吸医療装置を使用して人工呼吸を行うこと。 呼吸が困難な場合には、(資格のある者が)酸素吸入を行うこと。 症状が続く場合には、医師に連絡すること。

汚染された衣服及び靴を脱ぎ、直ちに石けん(鹸)と多量の水で洗うこと。 症状が続く 場合には、医師に連絡すること。 皮膚に付着した場合

眼に入った場合

直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。 洗っている間は眼を大きく広げたままにすること。 受傷部をこすらないこと。 症状が続く場合には、医師に連絡すること。 刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

無理に吐かせないこと。 口をすすぐこと。 意識のない者には、何も口から与えてはならない。 直ちに医師又は中毒情報センターに連絡すること。 飲み込んだ場合

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 咳及び/又は喘鳴。 呼吸困難。

徴候症状

応急措置をする者の保護に必要な注意 すべての着火源を排除すること。 医療者に物質の関与を伝え、自身の保護及び汚染の拡大 事項 を防止するための措置を講じること。 指定された個人用保護具を着用すること。 詳細に ついては項目8を参照。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 負傷者が本製品を飲み 込んだり吸入した場合には口移し法は使わないこと。 一方向弁付きポケット・マスク又は 他の適切な呼吸医療装置を使用して人工呼吸を行うこと。 蒸気やミストを吸入しないこ

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 粉末消火剤。 二酸化炭素(CO2)。 水噴霧。 耐アルコール泡消火剤。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性

着火のリスク。 製品及び空容器を熱源及び着火源から遠ざけること。 火災の場合には、水噴霧でタンクを冷却すること。 燃焼残留物や汚染された消火水は現地の規制に従って廃

棄しなければならない。

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること

警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人

予防措置 用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 人員を安全な区域に退避させること。 指定された個人用保護具を着用すること。 詳細に急時措置 ついては項目8を参照。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 十分換気されているか確認すること。 人員を漏出/漏えい(洩)の風上に遠ざけること。 全ての着火源を排除すること(近接区域は禁煙とし、裸火、火花又は火炎を排除すること)。 フラッシュバックに注意すること。 静電気に対する予防措置を講ずること。 製品を取り扱うときは使用する全ての器材を接地すること。 漏出物に触れたりその上を歩いたりしないこと。 蒸気やミストを吸い込まないようにすること。

緊急対応を行う 者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。 製品が排水路に入らないようにすること。

封じ込め方法

リスクを伴わずに可能ならば漏えい(洩)を止めること。漏出物に触れたりその上を歩いたりしないこと。蒸気抑制泡を使用して蒸気を減らすことができる。流去水を回収するために液体流出物のかなり前方に堤防を築くこと。排水路、下水溝、排水溝、水路に入らないようにすること。後で廃棄するために土、砂又はその他の不燃性材料に吸収させて容器

に移すこと。

静電気に対する予防措置を講ずること。 せき止めること。 不活性吸収材料で吸収すること。 回収して適切に表示された容器に移すこと。 浄化方法

汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。 二次災害の防止策

その他の情報 その区域を換気すること。 項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

個人用保護具を使用すること。 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 静電気の放電、火災又は爆発を防止するために、この物質を移動するときは接地及びアース接続を使用すること。 火花を発生させない工具及び防爆型の機器を使用すること。 スプリンクラーが装備された区域に保管すること。 包装容器のラベルに記載の指示に従って使用すること。 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類及び靴を脱ぐこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 蒸気やミストを吸入しないこと。 換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。 製品の取扱いを閉鎖系内に限定するか適切な排気式換気を設けること。

衛生対策

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 機器、作業区域及び衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。 休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと。 適切な手袋及び眼/顔面保護具を着用する。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 蒸気やミストを吸入しないこと。 汚染された衣類及び手袋は脱ぎ、再使用する前に内側を含めて洗濯すること。

保管

安全な保管条件

容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。 熱、火花、炎及び他の着火源(例えば、点火バーナー、電気モーター及び静電気)から遠ざけること。 適切な表示のある容器に保管すること。 可燃性物質の近くには保管しないこと。 スプリンクラーが装備された区域に保管すること。 個別の国内規制に従って保管すること。 現地の規則に従って保管すること。 施錠して保管すること。 子供の手の届かない場所に保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基 準 - 管理濃度	ACGIH TLV
N,N-ジメチルホルムアミド 68-12-2	TWA: 10 ppm TWA: 30 mg/m³ S*	10 ppm	TWA: 5 ppm S*

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	ACGIH
N,N-ジメチルホルムアミド	-	30 mg/L - urine (Total
68-12-2		N-methylformamide) - end of shift
		30 mg/L - urine
		(N-Acetyl-S-(N-methylcarbamoyl)cystein
		e) - end of shift at end of workweek

設備対策 シャワー 洗眼場

換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。 不浸透性手袋。

眼及び/又は顔面の保護具 密封性の高い安全ゴーグル。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。 長袖の衣類。 耐薬品性エプロン。 帯電防止長靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

液体 液体 物理状態 色 無色 臭い アミン臭 臭いのしきい値 情報なし

備考·方法

融点/凝固点 沸点又は初留点及び沸点範囲 可燃性 <u>--61</u> ° C / -77.8 ° F 152.5-153.5

データなし 情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし データなし 爆発又は可燃の下限界 情報なし

引火点 蒸発速度 58 ° C / 136.4 ° F

データなし 情報なし 自然発火点 情報なし データなし 分解温度 情報なし

На

粘度

動粘性率 データなし 情報なし データなし 動的粘度 情報なし

水への溶解度 水と混和 溶解度 データなし 情報なし

n ーオクタノ*ール/*水分配係数(log値) 蒸気圧 データなしデータなし 情報なし 情報なし

密度及び/又は相対密度 相対密度 データなし 情報なし データなし 相対ガス密度 情報なし

粒子特性 粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。 通常の条件下で安定。 危険有害反応可能性

避けるべき条件 熱、炎及び火花。 過剰な熱。

混触危険物質 強酸。強塩基。強酸化剤。

提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物

爆発データ

静電放電に対する感度 あり。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性_

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている ATEmix(吸入 - 粉じん/ミスト) 1.55 mg/l

ATEmix(吸入 - 蒸気) 3.09 mg/l

未知の急性毒性

混合物の3%は急性吸入毒性(蒸気)が未知の成分から成る

混合物の3%は急性吸入毒性(粉じん/ミスト)が未知の成分から成る

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
N,N-ジメチルホルムアミド	= 2800 mg/kg (Rat)	= 1100 mg/kg (Rat)	> 5.85 mg/L (Rat) 4 h

略語及び頭文字 Rat: ラット

症状 発赤、 眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある、 咳及び/又は喘鳴、 呼吸困難。

製品情報

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、

及び下痢を引き起こすおそれがある。

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 気道刺激を引き起こすおそれ。 吸入すると有毒である (成分に基づく)。 吸入すると有害。 吸入

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 皮膚刺激 (成分に基づく)。 皮膚接触

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 眼刺激。 発赤、掻痒感、及び痛みを 眼接触

引き起こすおそれがある。

皮膚腐食性/刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 皮膚刺激。 皮膚刺激のおそれ。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。眼刺激。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

変異原性が知られている又は変異原性が疑われる物質を含んでいる。 成分に対して利用可 生殖細胞変異原性

能なデータに基づく分類。 遺伝性疾患のおそれの疑い。

発がん性が知られている又は発がん性が疑われる物質を含んでいる。 成分に対して利用可 発がん性

能なデータに基づく分類。発がんのおそれ。

下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。

化学名又は一般名	日本	IARC
N,N-ジメチルホルムアミド	1B	Group 2A
68-12-2		<u>'</u>

凡例

国際がん研究機関

グループ2A - ヒト に対する発がん性がおそらくある

生殖毒性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

標的臓器影響 肝臓、 腎臓、 呼吸器、 眼、 皮膚、 中枢血管系(CVS)

国又は地域で採用され、SDSが準拠している世界調和システム(GHS)の分類基準に基づき、この製品は急性のばく露に起因して全身標的臓器毒性を引き起こすと判定されている。 臓 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

器の障害。

以下の臓器の障害: 以下の臓器の障害のおそれ: 肝臓。 呼吸器。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。

長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓。以下の臓器の障害:

誤えん有害性 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殼類
N,N-ジメチルホルムアミド	EC50: >500mg/L (96h,	LC50: =6300mg/L (96h, Lepomis	EC50: =7500mg/L (48h, Daphnia
	Desmodesmus subspicatus)	macrochirus)	magna)
	•	LC50: =9800mg/L (96h,	EC50: =8485mg/L (48h, Daphnia
		Oncorhynchus mykiss)	magna)
		LC50: =10410mg/L (96h,	EC50: 6800 - 13900mg/L (48h,
		Pimephales promelas)	Daphnia magna)

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 この製品のデータはない。

成分情報

化学名又は一般名	分配係数
N,N-ジメチルホルムアミド	-1.028
68-12-2	

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 環境中に放出してはならない。 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃

棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空の容器は火災及び爆発危険有害性を有する。容器を切断、穴開け又は溶接しないこと。

14. 輸送上の注意

AP Color Reagent A 改訂日 2023-09-13

<u>IMDG</u>

国連番号又はID番号 UN2265

品名(国連輸送名) N,N-DIMETHYLFORMAMIDE

説明 UN2265, N,N-DIMETHYLFORMAMIDE, 3, III, (58° C C.C.)

国連分類(輸送における危険有害性 3 クラス) 容器等級 Ш 海洋汚染物質 NP EmS番号 F-E, S-D

<u>ADR</u>

国連番号又はID番号 2265

品名(国連輸送名) N,N-DIMETHYL-FORMAMIDE

説明 2265, N,N-DIMETHYL-FORMAMIDE, 3, III

国連分類(輸送における危険有害性 3 クラス) 容器等級 Ш ERG コード 31

IATA

国連番号又はID番号 UN2265

品名(国連輸送名) N.N-Dimethylformamide

説明 UN2265, N,N-Dimethylformamide, 3, III

国連分類(輸送における危険有害性 3 クラス)容器等級 Ш

日本

国連番号又はID番号 UN2265

品名(国連輸送名) N,N-DIMETHYLFORMAMIDE

説明 UN2265, N,N-DIMETHYLFORMAMIDE, 3, III

国連分類(輸送における危険有害性 3 クラス)容器等級

15. **適用法令**

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当する 詳細情報については項目3を参照

労働安全衛生法

健康診断を要する有害物質

健康診断 - 労働安全衛生法第66条、労働安全衛生法施行令第22条、及び特定化学物質等障害予防規則、別表第5 有機溶剤等(有機則)

第2種有機溶剤等-労働安全衛生法施行令別表第6の2(第6条、第21条、第22条関係、及び有機溶剤中毒予防規則)

危険物

労働安全衛生法施行令別表第1(第6条、第9条の3関係)

引火性の物

通知対象物質

施行令第18条の2第1号、第2号別表第9及び第3号・別表第3 法第57条の2

危険性又は有害性等を調査すべき危険有害物

法第57条の3

表示対象物質

法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9及び第3号・別表第3

労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度

作業環境測定を行うべき作業場(労働安全衛生法施行令第21条及び作業環境評価基準 - 実行上の管理レベル)。 詳細な仕様につ SDSの項目8を参照。 いては、

がん原性に係る指針対象物質

安衛法第28条第3項に規定で厚生労働大臣が指定する化学物質

毒物及び劇物取締法 該当しない

消防法:

	4, 1	
化学名又は一般名	CAS番号	化審法
N,N-ジメチルホルムアミド	68-12-2	優先評価化学物質

船舶安全法

詳細については項目14を参照

詳細については項目14を参照

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

港則法

詳細については項目14を参照

労働基準法 化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び別表第1の2、項目4の1

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質

大気汚染防止法第2条、第4項で定める揮発性有機化合物 大気汚染防止法第2条、第1項、第3号及び大気汚染防止法施行令第1条で定める有害物質(HAP)

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2023-09-13

改訂記録 既存情報のフォーマット変更・更新済。

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

最大限界值 TWA(時間加重平均) 天井値 TWA 経皮吸収 感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA) EPA(米国環境保護庁)

EPA (木) (本) は現場ではでは、 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学早屋出家本機様(MICNA)

オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所) 米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP) 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国医学図書館のPubMedテータへ一人(NLM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

<u>免責事項</u>

不見事場 このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり